

総合文化研究科国際社会科学専攻夏学期開講

「クリミア問題と G7」、「アベノミクスと為替市場」、「米の量的緩和縮小と新興国経済」、「欧州の足踏みと中国経済の減速懸念」、「アジアの通貨・金融協力」・・・

現役財務省総括審議官による講義（「国際金融」）が実現！

世界を揺るがしているクリミア問題と G7 の対応、世界の注目を集めたアベノミクスと為替市場の動向、欧州危機後の同地域の経済の足踏み、中国経済の減速懸念と人民元の動向、リーマンショック後の世界金融危機など近年の国際金融市場における顕著な事象に理論と現実の両面から迫る。国際社会が直面する経済課題に対して、G7 や G20 などの場を通じ、日々第一線で対応を迫られている政策当局者による得がたい講義

世界経済の最新の動きとその背景、政策対応のあり方を分かりやすく解説

講義名 「国際社会科学特別講義Ⅳ」(31M/D230-1143S)
講師 客員教授 浅川雅嗣氏 (財務省総括審議官)
開講日 夏学期 毎週土曜日Ⅱ限(10:40~12:10)
教室 駒場1号館115教室 (出張などで休講の場合は、他の適当な土曜日の3限目に補講を行う)

(詳細は、UT-mate 掲載のシラバスを参照)